

松本竣介没後70年・大川美術館開館30周年記念企画 vol.2

# 松本竣介

## 読書の時間



松本竣介  
《黒いコート》  
1942年 個人蔵

2019年1.22〈火〉—3.24〈日〉

開館時間：10:00—17:00（入館は16:30まで）

休館日：月曜日（月曜祝日の場合は開館、翌日火曜日休館）

後援：群馬県教育委員会、桐生市教育委員会、上毛新聞社、桐生タイムス社、共同通信社

助成：公益財団法人 花王 芸術・科学財団

入館料：一般1000円 高大生600円 小中生300円

※20名以上の団体20%割引。※障がい者手帳等をお持ちの方、および付き添いの方1名は50%割引。※65歳以上の方は20%割引。

※中学生以下と同伴の保護者は2名まで50%割引。※毎月第一土曜日（桐生市内・桐生天満宮古民具骨董市および買場紗綾市開催日）は入館料20%割引。※織物参考館“紫”入館券をお持ちの方は20%割引。



公益財団法人

大川美術館

〒376-0043

群馬県桐生市小曾根町3-69（水道山中腹）

TEL. 0277-46-3300

URL. <http://www.okawamuseum.jp>

# 松本竣介 読書の時間

松本竣介没後70年を記念して、当美術館では、「松本竣介 アトリエの時間」につづき、「松本竣介 読書の時間」を開催します。

「アトリエの時間」では、画家がアトリエで過ごした時間に思いをはせながら、画家と作品(創作)との間を結びつけ、創作の内側を考察しました。今回「読書の時間」では、大切に保管されてきた画家の蔵書に注目します。900冊を超える蔵書は、美術ばかりではなく、思想、哲学、文学等、多岐にわたります。松本竣介は、画家であり、読書家であり、愛書家であったといってもいいでしょう。そして、今日まで保存された蔵書全体は、昭和戦前、戦中期に育まれた市井の知性のひとつの集積であり、その時代の貴重な資料ともいえます。本展では、これらの蔵書を、今日的な視点から見つめなおし、松本竣介という画家の創作と思想の形成を再考します。



松本竣介《婦人像》1942年 大川美術館蔵



松本竣介《うたたね》1942年頃 個人蔵



松本竣介《読書をする婦人》1941年頃 個人蔵



「パリの揺籠」著：芹沢光治良 装幀：松本竣介  
南北書園 1947年10月15日

## ■ 記念展示

クラウドファンディングによって実現することができました「**竣介のアトリエ再見プロジェクト**」。展示室に松本竣介のアトリエと同じスペースを設け、画家がすわっていた場所、ついていたモノ、すきだったモノをご覧ください。

展示期間  
2018年10月13日(土) - 2019年6月16日(日)



## ■ 関連事業

【講演会】※事前にお申込みください。

「着物で読書」講師：田中淳（当館館長）

日時：1月26日(土) 14時-15時30分 会場：大川美術館レクチャー室

【ミニコンサート】チェリスト：飯尾久香

日時：2月23日(土) 12時-12時50分 会場：大川美術館レクチャー室

いずれも定員：50名 参加費：無料（入館料のみでご参加いただけます。）

他に【ワークショップ「こども×アート×まち」】を開催します。詳細は、ホームページをご覧ください。

2019年12月まで、大川美術館では、「読書の時間」をはじめとして、シリーズで松本竣介展を下記の日程で開催予定です。

vol.3「松本竣介 子どもの時間」

2019年4月16日(火) - 6月16日(日)

vol.4「松本竣介 街歩き的时间」

2019年10月8日(火) - 12月8日(日)



公益財団法人

# 大川美術館

〒376-0043 群馬県桐生市小曾根町3-69 (水道山中腹)

TEL. 0277-46-3300

URL. <http://www.okawamuseum.jp>

## ■ 交通のご案内

◇ [電車利用(東京方面より)]

○東武浅草駅より、伊勢崎線赤城行き「特急りょうもう号」で新桐生駅まで約100分(北千住駅より約90分)。駅よりタクシーで約10分。

◇ [電車利用(栃木、群馬方面より)]

○JR桐生駅より徒歩約15分。○上毛電鉄西桐生駅より徒歩約10分。

※途中、急な坂および階段あり。

◇ [自動車利用]

○北関東自動車道、太田・薮塚I.C.または太田・桐生I.C.より約25分。

○東北自動車道、佐野・藤岡I.C.より約60分。